



## 地域学校協働本部とは

地域学校協働活動では、学校の行事、部活動（中学校）、図書館や花壇などの環境整備、そして授業や放課後・週末の学習など、校長の学校経営方針に沿ってサポート。未来を担う子供たちの豊かな学びや成長を地域全体で支え、学校を支援します。同時に、「学校を核とした地域づくり」を目指しています。調布市の公立小・中学校全校に設置されていて、今年度、本校にも設置された【学校運営協議会】との一体的な活動を行っています。その活動には、保護者、PTA、高齢者、大学生、NPOや民間企業に団体など、幅広い人たちがボランティアとして参加し活躍していただけるよう、各校の地域コーディネーターが活動しています。本校での今年度の活動を、この【六中 JOURNAL】でご紹介します。

## 六中生の学びをサポートする大学や地域との協働活動①



## 国際理解講習の様子

2025年10月31日、昨年度に続き国際基督教大学（ICU）との協働で『国際理解』の授業を実施。対象は、2年生全クラス。ICUで学ぶ9名の海外からの留学生と4名の日本人学生が講師。「自分が一番好きな学校生活の月」という事前ワークを踏まえ、当日は「Let's Look at the Schools of the World」のレクチャーからスタート。各クラスで、生徒たちが作るグループごとに1名の留学生が加わり、世界各国の「学校生活」を知る機会となりました。

## Talking Cafe の様子

『国際理解』の授業の間にあった昼休みには、MORI ルームで「Talking Cafe」を開催。国際基督教大学（ICU）の留学生と日本人学生のみなさんが、参加を希望した生徒たちと英語で対話する時間となりました。留学生たちの母国での生活に触れ、ICUでの学びと仲間たちとの日常を聞き、自分の毎日との違いを感じながら語り合うことが出来ました。授業の対象となった2年生に止まらず、1年生も国際理解を深める時間を過ごしました。



古仙芳樹さんの講話



河野良彦さんの講話

## 『平和講和とは』と当日の様子

2025年7月13日（日）に実施された、こくりょう・みんなの広場（国領小学校地区協議会）主催の行事『戦後80年特別講話「へいわっていいなあ!!～あなたの大切なひとは誰ですか～」』で協働。当日は、「古仙芳樹さんの講話（語り継ぐ戦地国領）」「河野良彦さんの講話（原爆被爆体験談）」「参加者交流タイム」「合唱部による歌唱」の4つのパートで進行。入口には、ちょうふピースメッセンジャーとピースメッセンジャージュニアによる「メッセージボード」と原爆に関連する書籍も展示しました。



コーラスを届ける六中合唱部

